【青森県】

青森県立青森南高等学校

青森県立青森南高等学校JRC・ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2023

子供たちとの交流

青森南高校のJRC部では、「読み聞かせ隊」というものがあります。読み聞かせ隊では、毎週水曜日に読み聞かせのコーチに指導してもらい、小学校の放課後児童会や幼稚園、保育園などで子供たちに読み聞かせをしています。読み聞かせは基本的な動作から読み聞かせのテクニックを教えてもらいます。他にも絵本の読み聞かせと読み聞かせの間にする手遊びや体を動かす体操なども教えてもらっています。読み聞かせによって子供たちだけでなく自分たちも成長している実感がわきます。

絵本作りでは、昨年青森中央短期大学と連携して絵本を作りました。絵本は最初からストーリーを考えたので苦労もありましたがやりがいを感じました。そして、子供たちにも理解できるような表現や言葉選びを意識しました。絵は有名絵本作家の技法を用いるといった工夫を凝らしました。子供たちの前で読み聞かせをしたときは、子供たちが飽きないように問いかけるなど、これまでの経験を活かして読み聞かせをしました。

また、青森県近代文学館からの依頼で絵本を作っています。完成したら、イベントで読み聞かせしたいと思います。

梵珠少年自然の家でのボランティアも行っています。「ファミリーキャンプ」では主に生き物観察、ディスクゴルフ、テント設営をして、子供たちと交流を行いました。

生き物観察では、ザリガニの子供とおたまじゃくしの観察をしました。
小さな沢は、子供が落ちやすく、落ちないよう注意深く見るといったことを心掛けました。ザリガニの子供はたくさんの子供に人気でした。

ディスクゴルフは動きが多いため、子供たち同士の事故が起きないよう、呼びかけと同時に楽しさが伝わるように教えたりしました。

テント設営では、人手の足りない親子のサポートをしつつ、子供ができる仕事はしてもらうといったことをしました。

注意しつつ子供たちと一日を過ごすことができました。

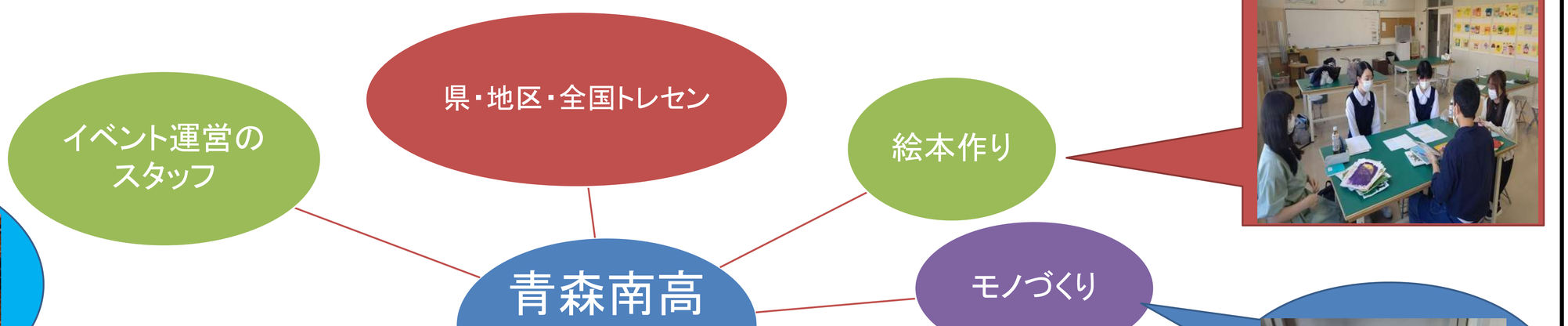
伝えあう、関わることの大切さ

私たちJRC部の実績の中に「全国トレセン」があります。それは青少年赤十字が主催する「県トレセン」で活躍が認められた生徒が行くことができ、そこでは、日本の社会課題を大きく４つの分野に分け、その中から各県から代表で選ばれた生徒が興味を持つ社会課題に分かれ、そのグループで課題を少しでも解決に近づけるような計画を作り、発表し、それに対する意見や改善点を他県から得たり、自分以外の発表に対し意見を発し考えを深めていくことで、今までの考え方や価値観を変える機会を得られる事業です。

昨年は「県トレセン」参加した本校の生徒一人と、他校から参加した生徒が一人推薦され、青森県支部の代表として参加しました。初日はオンラインでの大会で、最初は他県との交流ということに緊張しましたが、活動を進めていくうちに、緊張感はなくなり、意見も出やすくなりました。
二日目は日本赤十字社本社にて行われ、オンラインであった人たちと対面で交流しそこで自分たちが作成した計画を発表しあい、初日とはまた別の意見を得ることができました。後半では分野も違うグループで集まりそれぞれの計画を発表しました。そこで感じたのは、どの発表にも説得力がとてもあることです。計画した理由の中で多くの県の代表が、自分たちがその社会課題を実体験したことが基づいていて、「実体験があるからこそ、その課題に対する解決方法を出すことができる」と感じました。加えて、様々な人と交流することは、「今後の多様性や社会課題を解決するために必要な経験だ」と感じました。今年度も「全国トレセン」に参加できるよう活動していきたいです。

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県の三陸では、コロナ禍前まで岩手県の大槌高校と交流を続けていました。これは、被災場所の定点観測を見学したり、被災地の復興について調べたりと、震災について改めて考える貴重な機会となりました。今年の８月に、三陸に訪問して、大槌高校と交流をする予定です。

地域のために私たちが出来ること



ボランティアとSDGs

昨年、私達は使わなくなった鉛筆やノートなどの文房具をアフリカのニジェールに寄付しました。ニジェールは成人の識字率が15%ととても低く、世界で最も識字率の低い国とされています。また、近年は干ばつや洪水などの自然災害の影響を受けて農作物の生産量が減少し、深刻な食糧危機に見舞われるなど不安定な経済が貧困に影響しています。このことを受けて全校生徒に知ってもらうためにポスターを作り、文房具の寄付や募金の協力を呼び掛けました。全校生徒の協力のおかげで文房具は段ボールがいっぱいになるくらいまで集まり、目標額の3,000円の倍以上の8,228円の募金が集まりました。この活動を通してアフリカの経済や政治、教育の現状を知り、アフリカの子供たちの将来の夢を実現するために貢献できたと思います。またこのような活動ができる日が待ち遠しいです。

寄付活動のほかに地域の清掃奉仕活動も行っています。昨年の１１月に海のある公園にて松ぼっくり拾いに他校と共同で参加しました。そこでは松ぼっくりだけではなく落ち葉やペットボトルなども拾いました。この事業は公園の景観を良くするだけでなく、安心して歩けるためでもあり、SDGsの１７の目標の中の“陸の豊かさを守ろう”の達成に貢献することができました、今年はこういった事業に積極的に参加したいです。

集合写真

活動団体プロフィール

青森南高校JRC部は、令和元年より名称がJRC・ボランティア部となりました。従来の青少年赤十字の活動だけでなく、地域や様々な団体の事業にも積極的に参加し、SDGs、持続可能な社会の実現に貢献するために“私たちが出来ることは何か”を考え活動をしています。

読み聞かせ活動、絵本作り、三陸復興応援事業、清掃活動といった地域に貢献できることや、地区トレ、県トレ、など社会出来課題の解決のために出来ること。これらの活動を先輩方から引き継ぎ、受け継ぐことが活動の一つであり、そこから発展させる、繰り返し行うことも活動の一つです。“指示を受けて行動するのではなく、自ら課題を見つけ、解決に近づけることができる活動をする”をモットーにこれからも青少年赤十字活動、ボランティア活動ともに力を入れて活動していきます。